

蛍光塗装

適用部位：コンクリート面

仕上げの種類	蛍光塗装仕上げ
塗装略号	—
素材の種類	コンクリート
旧塗膜の種類	—

シンロイヒ株式会社
鎌倉市台2-19-12
Tel 0467(43)2121

ロイヒカラーネオ

1. **特長** 素地調整後、下塗り、中塗りに耐久性に優れるアクリル樹脂系防カビ塗料「ビルデック」を塗装し、下塗りは下地の吸い込みを考慮した希釈率とした。上塗りに視認性の優れたアルキド樹脂系蛍光塗料「ロイヒカラーネオ」を使用した仕様。

2. **塗装場所** 現地

3. 使用材料一覧表

	塗料名	商品名	希釈シンナー
1	アクリル樹脂系防カビ塗料	ビルデック ※	塗料用シンナー
2	アルキド樹脂系蛍光塗料	ロイヒカラーネオ	塗料用シンナー
3	アクリルアルキド樹脂系塗料	オーバーレイC	塗料用シンナー

4. 塗装仕様

工程	商品名	塗回数	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	ゴミ、油脂分などの付着物をサンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後 2時間以上 1ヶ月以内 2時間以上 1ヶ月以内 2時間以上 7日以内 4時間以上
下塗り	ビルデック	1	白	—	20~30 30~50	刷毛 ローラー スプレー	0.11~0.13	
中塗り	ビルデック	1	白	—	5~15 20~30	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.13	
上塗り	ロイヒカラーネオ	2	各色	—	5~10 20~30	刷毛 ローラー スプレー	0.13~0.15	
クリヤー	オーバーレイC	1	—	—	5~10 10~20	刷毛 ローラー スプレー	0.11~0.13	

◇標準使用量は、被塗物の形状や、塗装方法・環境などによって増減することがあります。

※印は大日本塗料株式会社の製品です。

5. 塗装上の要点

- ①シンナー等を加え過ぎないように注意してください。ダレたり薄膜となり耐久性の不足、剥離の原因になります。
- ②下塗りの塗装は、被膜面を綺麗に隠ぺいさせてください。
ロイヒカラーネオは、隠ぺい力が小さいため下地の状態がそのまま仕上がりに影響いたします。
- ③ロイヒカラーネオは、塗膜厚によって耐候性が著しく左右されます。
標準膜厚（80~90μ）に、仕上げてください。
☆商品の使用に際してはカタログ、説明書などを参照ください。

6. 注意事項

- ①塗装場所の気温や被塗物温度が5℃以下、湿度85%以上、又は換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので、塗装を避けてください。
- ②外部の塗装で降雨、降雪の恐れがある場合及び強風時は塗装を避けてください。
- ③塗装時や、塗料の扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ④新しいコンクリートに塗装するときには一般に2~3週間以上経過させ、十分に乾燥させてください。
(表面アルカリ度 pH10.0以下 含水率 10%以下)